

## 大草谷津田いきものの里 自然観察会

### 落ち葉で遊ぼう！

晝間初枝（四街道市）

日 時：2025年11月16日（日）10：30～12：00 天気：晴

参加者：13名（大人6名、子ども7名）

担当指導員：岡田 木下 晝間

参加指導員：相吉

暖かな日差しのもと、木の葉が舞う絶好の観察会日和。心配していた葉っぱは、ここ数日で散策路を埋め尽くすほどになり、用意した落ち葉も必要ないくらいでした。

早々に集まった子どもたちはドングリを拾ってポケットに詰め込んでうれしそう。全員が集まったところで、スズメバチに出会った時の対処について説明した後、それぞれにビニール袋を渡して、いろんな色や形、大きさの落ち葉を集めて、その落ち葉で遊ぼうと出発しました。

落ち葉を拾いながら進んでいくと子どもたちが大好きなカブトムシの幼虫を発見！落ち葉を拾いながらも子どもたちはやっぱり足元の虫たちが気になるようです。クビキリギス、ツチイナゴは冬を成虫で過ごすことを説明しました。黄や褐色の葉が多い道沿いに赤く色づいたヌルデやツタウルシの葉が一際目立ち、拾いたくなるのですが、かぶれることがあることを話し、拾わないようにしました。林縁の大きなヤツデの葉は人気、競い合って拾い大きさ自慢。

坂道を下ると急に明るくなり、広々とした谷津が現れ、コナラ、クヌギ、アカガシ、ウワミズザクラなどの落ち葉を踏みしめながら進みました。時折射す日ざしが、秋の深まりを感じさせる木々の葉を照らし、地味ながら美しい光景が目の前に広がりました。オオカマキリの卵は、ふわふわしたスポンジの中で春を待つことを話し、触ると「暖かそう！」と納得したようでした。じっとしているムネアカハラビロカマキリ、田んぼに降りて産卵するアキアカネ、林縁のオオアオイトトンボ・・・生き物探しと落ち葉拾いをしながら、ゆっくり進みました。畔を渡って、色鮮やかなオオモミジの落ち葉を拾っているとタネがくるくる落下、タネを飛ばして落ちる様子を観察しました。いつの間にか袋の中は、落ち葉でいっぱいです。

いよいよ集めた葉っぱで楽しみしていた遊びのはじまりです。まず、『葉っぱじゃんけん』まるくなって、「黄色い葉っぱじゃんけんぽん！」一斉に差し出した葉っぱはどれもきれいな黄色。赤い葉っぱ、大きい葉っぱ、トゲトゲの葉っぱと、次々と盛り上がりました。次は拾った葉っぱで『ステンドグラス作り』クリスマスツリー、イモムシ、きのこを切り抜いた黒い台紙の裏に葉っぱを張り付けて太陽にかざすと美しいステンドグラスの出来上がり。田んぼの縁に張ったロープに飾ると一段と陽に映えて素敵なおアート作品になりました。

最後は落ち葉をみんなで集めて山を作り、飛び込んだり、もぐったり・・・そのうちに両手いっぱいに葉っぱを抱えて飛ばしっこ、葉っぱのシャワーを浴びながら夢中になって遊びました。最後に元の地面に戻して葉っぱ遊びを終えました。晩秋の穏やかな日、秋を満喫する谷津で思いっきり落ち葉遊び楽しみました。



葉っぱじゃんけん



落ち葉のステンドグラス



葉っぱ遊び